

夏休みの宿題は図書館で

小・中学生のみなさん、宿題を終わらせるコツは市民図書館にありますよ。



★読書感想文

「どんな本を読んだらいいの?」「どんなふうにかいたらいいの?」そんな疑問に答えます。

- ▽「お父さんが教える読書感想文の書きかた」/赤木かん子/自由国民社
- ▽「すぐかける読書感想文」/あさのあつこ/学研
- ▽「スイスイ! ラクラク!! 読書感想文」/成美堂出版
- ▽「子どもに読んでほしい84冊」/東京新聞出版局

★自由研究

自分で調べてレポートにまとめるって意外にたいへん?

- ▽「お父さんが教える自由研究の書きかた」/赤木かん子/自由国民社
- ▽「自由研究ガイドブック」/左巻健男/東京書籍監修
- ▽「楽しく実験・工作、小学生の自由研究」/成美堂出版
- ▽「理科の自由研究のまとめ方」/高梨賢英・馬場勝良/さ・え・ら書房

このほかにも、標語作りの参考になる本や夏休み期間中の天気を調べる方法について書かれた本も図書館にあります。夏休みの後半、図書館を上手に使いこなしましょう。

■問い合わせ先 市民図書館 ☎(37)1321



世界遺産への道 第20回



新原・奴山古墳群の説明を聴く参加者

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」がユネスコの世界遺産暫定リストに記載されて1年以上が経過しました。少しずつですが、市民のみなさんにも世界遺産登録活動の認知度が上がってきているという手応えを感じると同時に、まだまだ大きな盛り上がりとなっていないことも痛感しています。

この講座は、世界遺産の理念や今後の取り組みの説明と、構成資産の見学の二部構成で開催しています。もちろん、沖ノ島へ渡ることができませんが、説明を聞きながら宗像大社や古墳を実際に見ることで、世界遺産登録活動に対する市民のみなさんの関心が高まることを願っています。

既に、地域の老人クラブなど各種団体のみなさんが受講し、参加者から「長年宗像に住んでいるが、このような場所があるとは知らなかった」「宗像についてもっと知りたい」などの感想をもらっています。今後もこの講座を継続していきます。1グループ15〜22人で申し込みしてください。参加費は無料ですが、コースによっては入場料や渡船料が必要です。詳しくは、世界遺産登録推進室までお問い合わせください。

郷土の遺産を体感

世界遺産バス見学講座

【世界遺産市民組織 参加団体募集】

市では、市内各種団体が協働で世界遺産登録活動に取り組みながら、まちづくりに貢献する「世界遺産市民組織」を立ち上げます。

興味がある団体のみなさんは、①団体名②代表名③電話番号を明記して、世界遺産市民組織準備委員会(アクセスⅡ海内)へファックス(62)2601で問い合わせてください。後日、折り返し連絡をします。

■問い合わせ先 世界遺産登録推進室 ☎(36)1372

多彩なイベントを開催 金海市女性週間



毎月15日号で、市と姉妹都市の締結をしている韓国・金海(キメ)市の広報紙を紹介しています。

金海市では、7月1日~同7日までの「女性週間」で、女性の地位と権利の向上を図り、男女平等文化を推進していくためのさまざまな女性関連イベントを開催します。

期間中、保健所では毎日30歳以上の女性200人を対象に無料健康診断を実施。また、がん予防教室では、広報ビデオの上映とリーフレットの配布をします。

チラム文化センターでは、「女性の権利向上のための役割劇大会」を開催。金海市と金海市女性団体協議会も、女性の親睦(しんぼく)と結束を固めるために、金海体育館で「第11回金海女性大会」を開催します。大会では、女性指導者の特別講演、女性首長の発表、エコ活動やエネルギー節約のための「G-Korea 実践決意文朗読」、女性福祉功労者表彰、「第5回立派な夫」表彰式、「第12回家族愛の手紙」最優秀賞表彰など、イベントが目白押しです。

また、金海女性人材開発センターが、イベント会場周辺で2010年女性就職フェスティバル「希望を分かち合うグリーンライフ、グリーンジョブ」を開催し、求人や求職相談、就職情報提供、面接コンサルティング、有望職種や副業アイテムなど女性の起業と就職に関する多彩なイベントのほか、起業のための展示広報館、エコ活動情報館、男女平等情報館なども運営します。

(金海市広報紙2010年6月21日発行から)

*この原稿は、市民サービス協働化提案制度として、平成20年度から「パラムむなかた(福岡教育大学船津研究室から名称変更)」が翻訳しています

■問い合わせ先 市民活動交流室 ☎(36)0311

ブルガリア共和国カザンラック市との交流

市では、9月にブルガリア共和国カザンラック市とパートナーシップ協定を締結します。今までのような交流をしてきたのかを紹介いたします。

カザンラック民族舞踊団との交流は、(財)サニックススポーツ振興財団の宗政伸一理事長がブルガリアを訪問した際、鮮やかな衣装やダンサーの元気で楽しい表情に感動したことからはじまりました。

2001年に、グローバルリーナのイベント「キャンドルナイトクリスマス」に合わせて、カザンラック民族舞踊団を招いた「ブルガリアフェスティバル2001」を12月に開催。その翌年から楽団とダンサーが寒い思いをしないように、11月に開催されるようになりまし。

2002年には、学校と福祉施設への訪問やホームステイを開始。2007年からは、9月に来日時期を固定し、現在のように「ブルガリアフェスティバル」が開催されています。



吉武小学校での交流会

民族舞踊団のほかに、11月には名門レフスキー新体操クラブの選手を招待し、市内の学校訪問やホームステイで市民のみなさんと交流しています。

また、2008年から、民族舞踊団と同世代の市民の交流を図ろうと、中学生ニュージラード派遣事業の体験者らで組織する「むなかたひつじの会」とグローバルアリーナで1泊2日の交流会を実施しています。交流会では、互いの国の遊びや歌を教え合ったり、ブルガリア料理と一緒に食べたり、団員に民族舞踊を教えるもらったつじの会からは、浴衣を



「ひつじの会」との交流会